

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



タスマニア島研修を終えて

～JA役員海外視察研修【前編】～

7月7日～14日までの8日間の日程でオーストラリアのタスマニア島の視察研修を実施して参りましたので主な視察内容を2回に分けて報告致します。

今回の視察先であるタスマニア島は一つの州でオーストラリア本土よりさらに南に位置し、北海道の8割程度の面積で、51万人が暮らす農漁業が盛んな地域です。

日本からは飛行機で約10時間の距離がありますが、時差は1時間で時差ボケに悩まされることなく過ごすことができます。

現在の季節は南半球に位置することから日本とは逆の冬となり、平均気温が最高10℃、最低4℃で本土シドニーよりも程度低いものの北海道

と比べるとかなり温暖な気候にあります。冬は降雨の日が多いのですが、年間降水量は600～700mmとなっています。今回の研修では13ヶ所で視察研修を行つて参りました。

タスマニア州専門学校

タスマニア州専門学校は農業だけではなく、あらゆる業種でスペシャリストを育成する学校で、社会人も通つており、約250種類の資格を取得できます。卒業生の初任給が大学卒業より高いため、タスマニア州政府としてもここで学ぶことを推奨しています。

農業分野では畑や牛、羊を飼つており、畑は100haあります。ここでは、JAびえいが農業研修を実施しており、JAびえいと共同で南瓜の栽培を行つています。タスマニア州専門学校主体で南瓜の植付けや収穫作業を行つていますが、植付け方法や収穫法などを教えた際に逆に美瑛の農家の方から効率の良い作業方法を学ぶこともあります。お互い勉強になっています。



専門学校の取組について説明を聞く役員の皆さん



TIAの取組について説明を聞く役員の皆さん

小学生や中学生を対象に食育も実施しています。

農業研究所ではありますが、小学生や中学生を対象に食育も実施しています。

タスマニア島は小さい島ですが、オーストラリア本土より空気がきれいで病害虫もないため、本土からの農産物の移入を制限し、病害虫をタスマニア島に入れないようにすることで農産物の生産性を維持しています。

タスマニア州は水産物の輸出も多く、特に養殖しているサーモンの輸出割合が高いです。サーモンは養殖がメインで、水産物としては重要な品目であるため、サーモンの病

36haで野菜を栽培しています。研究所のため、農薬会社と連携した農薬試験や、作物や品種試験を行いますが、加工会社に野菜の販売もしています。

現在タスマニア大学と北海道大学が共同研究を行つており、北海道大学の学生が研修に来ています。今後は農業分野でのさらなる連携を考えています。

生産性の向上のため、タスマニア大学と連携し、タスマニア全土の土質調査を行い、どの地域がどの作物栽培に適しているかの調査を行っています。

タスマニア農業研究所(TIA) 研究室

タスマニア州環境省

害を調べワクチンの開発を行っています。タスマニア州政府としては輸出にもっと力を入れるため、家族経営農家も海外に輸出できるよう道筋を立てていますが、まずはオーストラリア本土への移出から始め、最終的に海外への輸出へ移行で行きるように進めて行きたいと考えています。

タスマニア島は労働力不足のため、人件費も高く、さらに運送コストも高いため、農水産物の価格が高いですが、価格に見合った品質に重点を置き、高くて買つてもうえる作物の栽培を目指しているとともに、州政府としては労働力確保対策として、家族経営から法人化経営を推奨しています。

タスマニア島全土のボーリング調査を行い、各地区の土の性質や各地区で適した作物、温度などをインターネットで公開しており、各地区で生産性向上のためにデータ収集しています。

タスマニア島での牛の飼育

イオン向け肉牛を飼育している牧場で40年の歴史があり、牛肉の約98・5%がイオン（日本）へ輸出しています。敷地面積は760万坪で東京ドーム540個分あります。現在の出荷頭数は年間18,000頭ですが、今後は年間20,000頭の輸出を目指しています。

タスマニア・フィードロッド（イオン）

ストラリア本土への移出から始め、最終的に海外への輸出へ移行で行きるように進めて行きたいと考えています。タスマニア島は労働力不足のため、人件費も高く、さらに運送コストも高いため、農水産物の価格が高いですが、価格に見合った品質に重点を置き、高くて買つてもうえる作物の栽培を目指しているとともに、州政府としては労働力確保対策として、家族経営から法人化経営を推奨しています。



● サーモンのワクチンを開発研究している水槽を見学する役員の皆さん

は、飼料や水の確保、敷地面積で飼える頭数の上限が設定されており、同社は16,000頭まで飼育できるライセンスを持っていますが、現在は12,000頭を飼育しています。日本への輸出は年2回で、1度に9,000頭出荷しています。

TPP11の関税撤廃は同社としては日本のイオンへ輸出する際に大きなメリットがあります。

また、日本へはタンやハラミを輸出していますが、腸は水洗いの経費がかかるため、輸出を行っていません。

北海道では季節が逆ですが、北海道とタスマニア州の関係性、さらには北海道とタスマニア州の関係性を構築したいと考えています。そこを利用していきたいと考えています。

JAPANとタスマニア州の連携の検討を希望しています。

タスマニア州政府

タスマニア州は今まで以上に品質の良い物を作つていかなければならず、北海道とタスマニア州で争うのではなく、今まで以上に品質の良い物を作り、共存していきたいと考えています。（以下次号）



● タスマニア・フィードロッドで飼育している肉牛

タスマニア島全土のボーリング調査を行い、各地区の土の性質や各地区で適した作物、温度などをインターネットで公開しており、各地区で生産性向上のためにデータ収集しています。

タスマニア島での牛の飼育



● タスマニア州政府の方と一緒に写る役員の皆さん

収穫開始!!

7月中旬から8月に入り、本町の基幹作物である玉葱、小麦、にんにくの収穫が本格化してきました。

今後も馬鈴薯、南瓜などの作物、小麦の適期播種に向けて忙しい毎日が続きますが、繁忙期の時期こそ、家族皆で声を掛け合い、農作業事故、交通事故防止に努めていきましょう。



共立地区
齊藤 隆さん圃場



日吉地区
遠藤圭一郎さん圃場



豊川地区
江田雅一さん圃場



岐阜地区
山田武正さん圃場



富丘地区
佐藤 稔さん圃場



ところピンクにんにく



富丘地区
森脇幸喜さん圃場



福山地区
遠藤一也さん倉庫



久保 孝太さん 受入:清井 俊幸さん

15日間の短い研修期間の中で多くの仕事を見学、経験させて頂いたことや、農業経営のお話もして頂き大変勉強になりました。

将来、複数法人を目指しているため、今回の研修で学んだことを活かしたいと思います。

廣川 理功さん

受入:羽石 規靖さん

玉葱やにんにくなどは授業で軽く触れる程度でしたが常呂町での農業研修で詳しく教えて頂き大変勉強になりました。

実家で就農後は、今回の研修で学んだことを活かしたいと思います。



松田 稜平さん 受入:林 健志さん

今回の研修では、農業は努力した分結果に繋がるという事を学びました。仕事面だけではなく、生活面の重要性も学ぶ事ができました。

卒業後、実家で就農しますが、今回学んだことを活かしたいと思います。



農業実習生受入れ

★常呂町農業担い手受入れ協議会★

常呂町農業担い手受入れ協議会（林健志会長）は、農業実習生をホームステイ形式で受入れしました。

拓殖大学北海道短期大学の2年生3人が、7月29日～8月12日の15日間の農業実習を行い、常呂町の畑作を中心とした農業を体験しました。

実習生は普段の学校生活では得られない貴重な体験ができ、今後の就農・進学に向けて意義のある実習になつたのではないか。実習を終えての、各実習生の感想をご紹介します。

常呂町内で生産された地元野菜の販売を行う「ところ市」が8月11日、中央公民館で開催されました。

会場では組合員ら地元生産者が愛情を込めて育てられた旬の野菜がたくさん並べられ、開店と同時に会場は大勢のお客さんの熱気に包まれました。

野菜の他にも、ゆでとうもろこしやパン、ジャムなどの加工品、仏花などが販売され、来場した地元客は包まれました。

地元野菜で地産地消をところ市開催

「地元の新鮮な野菜が手に入るのでも毎年楽しみにしています」と、笑顔で話しました。



写真上:野菜や加工品を求める多くの客が訪れました
写真下:ところ市に出店した皆さん

家畜への鎮魂と感謝の意を込めて

（相馬神社祭）

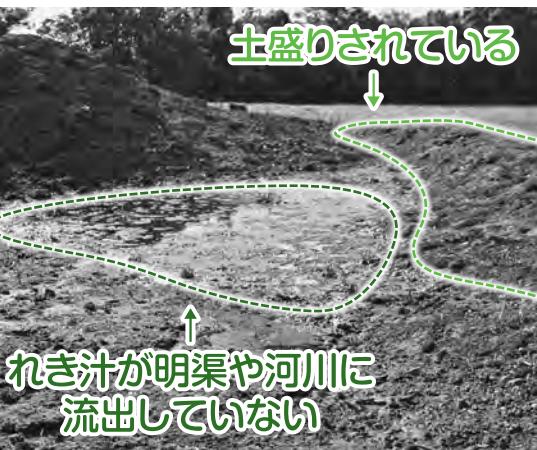
JJAといひ（川上和則組合長）は、7月18日、JJA東牧場にある獣魂碑前で相馬神社祭を執り行いました。

当団は、JJA役員、各関係機関、畜産農家など19人が出席しました。この相馬神社祭は、常呂町内を一望できる牧場内で、日頃の畜農や食文化のために命を捧げてくれた家畜に対し鎮魂と感謝の意を込めて供養をすること目的で行っており、出席者は一人ひとり獣魂

碑に向かって玉串を捧げ、家畜の靈を慰めました。



玉串を捧げる山浦靖人
酪農振興会長



環境に配慮した取り組み

（環境委員会 堆肥巡回実施）

JJAといひは環境委員会による堆肥周辺環境に配慮した堆肥保管場所の巡回調査を各畜農集団長、北見市常呂総合支所の協力の下、7月19日に行いました。

同調査では、堆肥場に土盛りを行い、河川や明渠に堆肥から出る污水が流出していないか調査しています。

来年度以降も海の資源を守り、豊かな土づくりと共によりの環境に配慮した取り組みを続けていきます。

聖徳太子祭

聖徳太子奉賛会（川上和則会長）は、8月1日、豊川の高徳寺で聖徳太子祭を執り行いました。

聖徳太子祭がなぜ8月1日に行われ、また、聖徳太子といひな関係があるのか知らない方も多いのではないかと思います。

常呂川は、常呂原野一帯に肥沃な農耕地を提供し、常呂開拓の大きな要因となりました。しかし、常呂川は名うての暴れ川で明治の開拓当初から氾濫、洪水を繰り返し、血のにじむような苦労を重ね、時々付けした農作物が収穫を目前にしながら、一瞬にして押し流され収穫皆無になるなど、流域に入植した農民たちは苦しめられました。

常呂村の存亡は常呂川治水工事の成否にかかっていると、村を挙げて立ち上がった人々は、道府に対し必死に堤防の築造を陳情、その悲願が実り新水路掘削、築堤、護岸などの工事に着手することが決定し、大正10年8月1日に起工式が盛大に行われました。それから翌年、日本の治水事業の祖といわれる聖徳太子の徳を偲び『聖徳

太子碑』を建立し、早期完成を祈願し、毎年8月1日に聖徳太子祭を行つてた歴史があります。また、令和3年には築堤工事が着工され、100周年を迎えて記念事業を予定しています。記念事業実施にあたりますのでどうかよろしくお願ひ致します。



先人たちへの感謝を込め参拝する出席者の皆さん





女性部の活動などについて説明する太田調査役

1日目は、来年3月に北海道から撤退を表明している劇団四季の「ワトルマーメイド」を観劇。同作は、ディズニーが1989年に製作した劇場版長編アニメーションを舞台化したもので最初の挑戦は2008年のブロードウェイ。アニメーションの物語を華やかに再現した舞台は、劇場全体を使ったスケールの大きな表現が世界的な話題となりました。

2日目は、北海道農業協同組合中央会を訪問。同会の協同活動推進室の太田智調査役に概要と各地域の女性部の

長)は7月11日～12日の2日間、部員24人が参加して夏季視察研修を札幌方面で行いましたので、研修要点を報告します。



話を聞く女性部の皆さん



視察研修に参加した女性部の皆さん

今回の研修を通じて参加した部員は、「劇団四季を初めてみた!・再現度が高くて感動した」「女性組織綱領は、いつもただ読んでいるだけだったが、改めて意味をちゃんと理解できて良かった」と話していました。

感動の名作と道の活動を知る ～JAところ女性部 夏季視察研修～

家の光 毎日の暮らしをいきいきさせる いま読みたい記事がいっぱい!
食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン

毎月3大特集

お金を使ひ込む暮らし方 招き猫 お尻 健康

手芸 & 読みやすくなりました

JA自己改革や協同のたいせつを伝える記事もわかりやすく!
全国の地域情報も掲載。

毎6回別冊付録が付きます

お問い合わせはお近くの本・支店(所)へ
JAグループ 家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL.03-3266-9039 <http://www.enohikari.net>

誌代(税込)	2019年11月号まで	2019年12月号より
普通月号	617円	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	906円	922円
家計簿付き12月号	1,008円	1,027円

※消費税率変更にともない、2019年12月号より定価を改定します。

倫理法令遵守を再確認

～コンプライアンス研修会～

JJAという（川上和則組合長）は職員を対象とした「コンプライアンス研修会」をJA会議室で行いました。

JJAと/orでは、不祥事を未然に防ぎ、法令遵守や企業倫理を再確認するとともに、内部統制の整備とコンプライアンス体制の確立ができるよう毎年実施しています。

今回は、「コンプライ

アンスについて」と

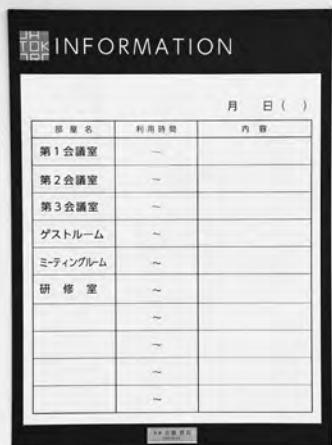
題し、JA北海道中央会北見支所の門谷悠超き谷、農業協同組合の話がされました。



写真上：講師の門谷調査役
写真下：研修を受ける職員

また、最後に門谷調査役は「不祥事例のいずれもが対応可能な内部の問題、また当事者に与える影響だけでなく、Aグループの信頼を損ない、さらなる規制強化にも繋がってしまう」と話しました。

インフォメーション ボード設置



この度、元組合員である岐阜地区的古館晋氏より、長年にわたり営農ができたことに対する農協への感謝の意を込めて何かに役立て願いたいという思いから篤志が寄進されました。

この篤志は、組合員および地域からの要望があった案内板の設置費用に活用させていただきました。

農作業事故 防止の徹底！

（農作業安全の実践・確認項目）

- ① 休憩の取れる無理のない作業
- ② 農作業や機械作業に適した服装
- ③ 点検・整備は、必ずエンジン停止
- ④ 油断せず後方確認、足元注意
- ⑤ 慎重な圃場への出入り、慎重なあぜ越え
- ⑥ 農道の走行時は、路肩の状況を確認
- ⑦ 道路走行に備え、反射板を装着



暴風雨などの悪天候時には、圃場に行かない！
「もしも」のために携帯電話を持参!!

第6回理事会報告

- ◆マネロンガイドラインとのギャップ分析結果について
原案通り報告することで承認されました。
- ◆固定資産取得について(100万円以上)
令和元年度事業計画に基づき、原案通り固定資産を取得することで承認されました。
- ◆令和元年産共計小麦の仮渡金について
原案通り仮渡することで承認されました。
- ◆令和元年産共計玉葱の仮渡金について
原案通り仮渡することで承認されました。
- ◆小豆収穫機械導入に伴うコントラ事業運営の承認について
原案通り導入することで承認されました。
- ◆令和元年度畑作構造転換事業の実施について
原案通り実施することで承認されました。

- ◆組合員の出資金譲渡について
原案通り譲渡を承認しました。

〈報告事項〉

- ◆第1四半期監査報告について
- ◆平成30年産共計玉葱本精算について
- ◆令和元年度実測面積について
- ◆令和元年度コムギなまぐさ黒穂病調査の結果について
- ◆不祥事発生に伴う内部牽制機能の一斉点検実施について
- ◆令和元年度農業労災加入状況について
- ◆法人組合員代表取締役の変更について
- ◆職員の採用について
- ◆組合員交流会開催報告について
- ◆令和元年度早取り肥料取りまとめ実績について
- ◆農業委員会報告について

行事予定表

9月1日(日)～9月30日(月)

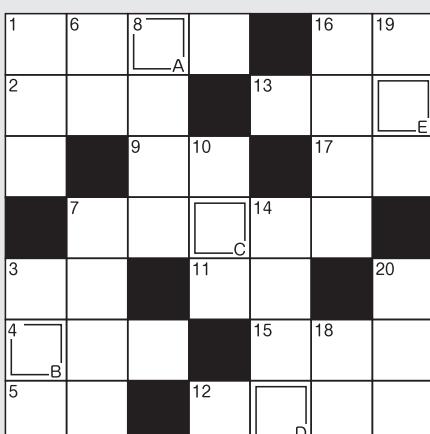
9月12日(木) 秋季祭典

9月16日(月) 敬老の日

9月20日(金) 第8回定期理事会

9月22日(日) 農休日

9月23日(月) 秋分の日



Crossword Puzzle

～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか？

ヨコのカギ

- 9月1日は○○○○の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
- 高知の名物料理、カツオの○○○
- 皮膚の表面にある細かな模様。○○の細かい肌
- 食器を拭く布です
- いがに守られた実がなります
- 晴れた十五夜にはとても明るい
- 矢を射る道具
- 陽の反対語
- 国や地方自治体に納めます
- 首都はモスクワ。大きな国です
- 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
- 傘にも廻(たこ)にもあります
- バラの茎にある突起

タテのカギ

- テレビのリモコンにはたくさん付いています
- なだらかな○○○が続く丘陵地
- 合唱部が練習するもの
- 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
- 今からこれじゃ、○○○○が心配だなあ
- 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
- 宴会でクラスをみんなで掲げて……
- 相撲の勝敗を記録した○○○○表
- ゴホゴホゴホ
- 価格が高くなること
- 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

先月の当選者・解答

8月号のまちがい探しの答えは、
「1、3、6、8、9」でした。
抽選の結果、次の方が当選しました。
おめでとうございます。

森澤 太陽さん(富丘)

※()内は地区名です。

応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。
抽選で、森永特別パックをプレゼントします。

読者の声

★各地区的作業状況、若い農業者の活躍ぶりなど楽しみにしています。

(共立地区・佐藤 啓子さん)

★いろいろな情報や写真が楽しめます。

(匿名希望)



農業を担う青年たち

No.3

※今年度の新規就農者の皆さんを前月号から引き続きご紹介致します。

岐阜地区 米山 東亜さん あさひ 〈父:忠雄さん〉

○生年月日

平成10年11月17日（20歳）

○最終学歴

北海道立農業大学校

○就農にあたっての抱負

技術面だけでなく経営面も学び、効率よく農作業をしていきたい!!

○学校で学んでいたこと

秋まき小麦（きたほなみ）を試験栽培していました。

○趣味

映画鑑賞



原田 あやのさん
愛知県立猿投農業高等学校1年 受入:石田 雄三さん



杉光 舞さん
東京農業大学1年 受入:梅田 俊則さん

J A ところは、7月29日から8月10日までの期間に短期農業研修を実施し、愛知県、千葉県から大学生、高校生計4人が参加。前半1週間に1人と後半1週間に3人が酪農家で研修を受け、乳牛を相手に、搾乳作業や給餌作業を体験し、汗を流しました。

研修生は動物と触れ合うことの楽しさや、作業の大変さを通じて、「研修はあつという間でもっと研修をしたかった」「もっと牛の事を知りたい」など笑

J A ところは、7月29日から8月10日までの期間に短期農業研修を実施し、愛知県、千葉県から大学生、高校生計4人が参

JA ところは、7月29日から8月10日までの期間に短期農業研修を実施し、愛知県、千葉県から大学生、高校生計4人が参



梅花英里さん、渡辺美江さん(左から)
千葉県立旭農林高等学校2年 受入:那須 淳さん

短期農業研修生 4人を受け入れ

JA ところは、7月29日から8月10日までの期間に短期農業研修を実施し、愛知県、千葉県から大学生、高校生計4人が参

- 日中と朝晩の寒暖差が大きくなり、だんだんと秋が近づいてきているのを実感しますね。今年も残すところ、あと4ヶ月、収穫作業も後半戦となります。が、天候にも恵まれて無事収穫できることを職員一同願っています。
- また、近年農作業事故が全国的に増加しています。家族で声掛けや安全対策を心がけるなど注意して農作業を行いましょう!《営農企画課:広報担当》

次世代を担う 若者たち

秋小麦『きたほなみ』の収穫作業を行う田房壮太さん

今月の表紙は、東浜地区の田房壮太さん（23）です。秋小麦『きたほなみ』の収穫作業を行っているところを取材させて頂きました。

収穫作業の合間に、現在取り組んでいることについて聞くと「将来的に大豆や小豆などの豆類を作付しようと考えているので、今は豆類の栽培方法や経営管理などを学んでいる」と話してくれました。

農作業中にも関わらず、取材、撮影にご協力いただきましてありがとうございました。

